2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　日本金銭機械株式会社　上場取引所　東
コード番号　6418　ＵＲＬ　https://www.jcm-hq.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）上東　洋次郎
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 経営企画本部副本部長　（氏名）橋本　美奈子　ＴＥＬ　06-6643-8400
半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　2026年12月４日
決算補足説明資料作成の有無：　有　（ホームページに掲載）
決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	20,589	39.4	2,749	234.9	2,719	168.8	2,135	△35.1
2026年３月期中間期	14,774	△30.5	820	△78.1	1,011	△66.2	3,288	32.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,775百万円（18.4%）　2026年３月期中間期　2,343百万円（△51.7%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	78.70	―
2026年３月期中間期	121.45	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	55,800	38,124	68.3
2026年３月期	52,222	35,845	68.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　38,124百万円　2026年３月期　35,845百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	20.00	―	20.00	40.00
2027年３月期	―	23.00			
2027年３月期（予想）			―	50.00	73.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	23.6	4,900	96.2	5,000	41.8	3,900	△16.9	143.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　有
　　除外　1社　JCM GOLD(H.K.)LTD.

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	29,672,651株	2026年３月期	29,672,651株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,506,300株	2026年３月期	2,547,614株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	27,138,120株	2026年３月期中間期	27,077,762株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の３ページをご参照ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の通商政策を巡る不確実性や、中東地域をはじめとする不安定な国際情勢に起因する地政学的リスクに加え、原材料価格の高止まりや為替相場の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主力市場であるグローバルゲーミング市場においては、カジノホテル等のゲーミングエリアへの設備投資が高水準を維持したことから、ゲーミング関連機器の需要は引き続き増加傾向で推移いたしました。また、海外コマーシャル市場においても、欧州地域を中心に精算機等の貨幣処理関連機器の需要は回復基調となりました。一方、国内コマーシャル市場においては、顧客の設備投資に慎重な姿勢が続き、遊技場向機器市場においても、業界構造の変化を背景に設備投資は低調に推移いたしました。

このような事業環境の下、グローバルゲーミング市場では、北米地域を中心とした堅調な需要を背景に、紙幣識別機ユニットやプリンターユニット等の主力製品の販売拡大に注力し、新モデルの紙幣識別機ユニットの市場浸透を図るとともに、海外コマーシャル市場においては、欧州地域における紙幣還流ユニット等の販売拡大及び新製品の市場投入に取り組んでまいりました。また、当社グループ全体の事業規模の拡大を図るため、本年７月１日付で富士通フロンテック株式会社から中・小型リサイクラー及びディスペンサーの製造・販売事業を譲り受け、顧客基盤の強化及び製品ラインナップの拡充を進めました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は20,589百万円（前年同期比39.4%増）、営業利益は2,749百万円（前年同期比234.9%増）、経常利益は2,719百万円（前年同期比168.8%増）となりました。一方、前中間連結会計期間に固定資産売却益を特別利益として計上していた反動により、親会社株主に帰属する中間純利益は2,135百万円（前年同期比35.1%減）となりました。

なお、当中間連結会計期間の平均為替レートは、米ドル158.61円（前年同期は147.50円）、ユーロは184.89円（前年同期は162.30円）で推移し、当中間連結会計期間末の時価評価に適用する為替レートは、米ドル157.35円（前連結会計年度末は159.93円）でありました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

北米地域を中心に紙幣識別機ユニット及びプリンターユニットの販売が好調に推移し、欧州地域向けの販売も増加したことなどから、セグメント売上高は14,332百万円（前年同期比46.6%増）、セグメント利益は3,713百万円（前年同期比67.7%増）となりました。

②海外コマーシャル

欧州地域を中心に紙幣還流ユニット等の販売が増加したほか、富士通フロンテック株式会社から譲り受けた事業に係る製品の販売が加わったことなどから、セグメント売上高は4,118百万円（前年同期比105.9%増）となりました。また、事業譲受に伴う移行コスト等の発生により、セグメント損失は35百万円（前年同期は561百万円の損失）となりました。

③国内コマーシャル

顧客における在庫調整の影響により、主に紙幣還流ユニット等の販売が減少したことなどから、セグメント売上高は833百万円（前年同期比29.5%減）、セグメント損失は190百万円（前年同期は87百万円の利益）となりました。

④遊技場向機器

遊技場の新規出店や改装等の案件数が全体的に減少傾向で推移し、主にスマート遊技機専用ユニットの販売が減少したことなどから、セグメント売上高は1,305百万円（前年同期比28.1%減）となりました。一方、経費削減等の効果により、セグメント利益は71百万円（前年同期はセグメント損失158百万円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,578百万円増加し、55,800百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,281百万円増加し、46,600百万円となりました。「現金及び預金」が2,533百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」が1,277百万円それぞれ増加した一方、「有価証券」が803百万円減少いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて306百万円増加し、9,129百万円となりました。有形固定資産の取得等により「有形固定資産」が179百万円、事業譲受によるのれんの発生や使用権の増加などにより「無形固定資産」が334百万円増加した一方、投資有価証券の売却などにより投資その他の資産の「その他」が206百万円減少いたしました。

繰延資産合計は、社債発行費の償却により前連結会計年度末に比べて10百万円減少し、71百万円となりました。

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,635百万円増加し、9,181百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が1,907百万円増加した一方、借入金の返済により「１年内返済予定の長期借入金」が300百万円減少いたしました。

固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて337百万円減少し、8,494百万円となりました。借入金の返済により「長期借入金」が450百万円減少いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,279百万円増加し、38,124百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益の計上等により「利益剰余金」が1,593百万円増加し、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分等に伴い「自己株式」が61百万円減少したほか、円安の影響等により「為替換算調整勘定」が486百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、2,525百万円増加し、24,263百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は3,435百万円（前年同期は2,962百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益2,918百万円、仕入債務の増加額1,784百万円、棚卸資産の減少額599百万円などにより資金が増加した一方、売上債権の増加額936百万円、法人税等の支払額871百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、得られた資金は313百万円（前年同期は2,674百万円の収入）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入2,832百万円などにより資金が増加した一方、投資有価証券の取得による支出1,499百万円、事業譲受による支出561百万円、有形固定資産の取得による支出421百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は1,356百万円（前年同期は1,779百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出750百万円、配当金の支払額540百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額132百万円の資金の増加がありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年５月13日付に公表いたしました2027年３月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示しております「2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,305,530	21,838,885
受取手形、売掛金及び契約資産	5,705,010	6,982,300
電子記録債権	519,022	390,520
有価証券	3,728,666	2,924,810
商品及び製品	8,928,193	9,044,620
仕掛品	441,360	692,258
原材料及び貯蔵品	3,600,018	3,249,711
その他	1,224,634	1,607,864
貸倒引当金	△133,840	△130,373
流動資産合計	43,318,598	46,600,598
固定資産		
有形固定資産	2,627,580	2,806,818
無形固定資産	410,022	744,270
投資その他の資産		
その他	5,850,395	5,643,507
貸倒引当金	△65,548	△65,548
投資その他の資産合計	5,784,847	5,577,959
固定資産合計	8,822,450	9,129,048
繰延資産	81,587	71,209
資産合計	52,222,636	55,800,856
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,434,513	3,341,883
１年内返済予定の長期借入金	1,200,000	900,000
未払法人税等	845,233	702,030
賞与引当金	393,000	411,000
役員賞与引当金	46,000	20,000
その他	3,627,239	3,806,982
流動負債合計	7,545,986	9,181,896
固定負債		
社債	6,000,000	6,000,000
長期借入金	1,920,000	1,470,000
その他	911,278	1,024,145
固定負債合計	8,831,278	8,494,145
負債合計	16,377,264	17,676,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,220,316	2,220,316
資本剰余金	2,700,615	2,685,670
利益剰余金	30,649,917	32,243,066
自己株式	△3,631,470	△3,569,695
株主資本合計	31,939,378	33,579,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	671,014	823,983
為替換算調整勘定	3,234,978	3,721,473
その他の包括利益累計額合計	3,905,992	4,545,456
純資産合計	35,845,371	38,124,814
負債純資産合計	52,222,636	55,800,856

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	14,774,037	20,589,030
売上原価	8,862,887	12,244,104
売上総利益	5,911,149	8,344,926
販売費及び一般管理費	5,090,276	5,595,831
営業利益	820,873	2,749,095
営業外収益		
受取利息	107,860	218,611
受取配当金	46,784	31,814
為替差益	55,706	－
その他	53,829	16,804
営業外収益合計	264,180	267,230
営業外費用		
支払利息	51,075	54,673
為替差損	－	218,782
その他	22,494	23,850
営業外費用合計	73,569	297,306
経常利益	1,011,484	2,719,018
特別利益		
固定資産売却益	3,277,057	1,718
投資有価証券売却益	－	26,770
関係会社清算益	8,832	172,530
関係会社株式売却益	9,066	－
その他	1,990	－
特別利益合計	3,296,945	201,018
特別損失		
固定資産除却損	808	1,436
固定資産売却損	－	347
投資有価証券売却損	250	－
特別損失合計	1,058	1,784
税金等調整前中間純利益	4,307,371	2,918,252
法人税、住民税及び事業税	833,534	761,990
法人税等調整額	185,180	20,612
法人税等合計	1,018,714	782,602
中間純利益	3,288,656	2,135,650
親会社株主に帰属する中間純利益	3,288,656	2,135,650

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年９月30日)	当中間連結会計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年９月30日)
中間純利益	3,288,656	2,135,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	302,640	152,969
為替換算調整勘定	△1,247,861	486,494
その他の包括利益合計	△945,220	639,463
中間包括利益	2,343,436	2,775,114
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,343,436	2,775,114
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,307,371	2,918,252
減価償却費	304,091	376,158
のれん償却額	－	12,209
引当金の増減額（△は減少）	△116,998	△7,790
受取利息及び受取配当金	△154,645	△250,425
支払利息	51,075	54,673
為替差損益（△は益）	△253	204,135
有形固定資産除売却損益（△は益）	△3,276,249	66
無形固定資産除売却損益（△は益）	3,172	－
投資有価証券売却損益（△は益）	250	△26,770
関係会社株式売却損益（△は益）	△9,066	－
関係会社清算損益（△は益）	△8,832	△172,530
ゴルフ会員権売却損益（△は益）	△1,990	－
売上債権の増減額（△は増加）	781,224	△936,225
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,896,080	599,019
仕入債務の増減額（△は減少）	△696,656	1,784,743
未収消費税等の増減額（△は増加）	150,837	△347,652
その他	△20,630	△97,501
小計	3,208,782	4,110,362
利息及び配当金の受取額	154,300	250,081
利息の支払額	△47,987	△53,143
法人税等の支払額	△352,410	△871,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,962,685	3,435,960
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額（△は増加）	36,562	△2,693
有形固定資産の取得による支出	△513,319	△421,470
有形固定資産の売却による収入	5,107,797	3,314
無形固定資産の取得による支出	△2,132	△37,488
投資有価証券の取得による支出	△2,091,073	△1,499,577
投資有価証券の売却による収入	3,000	2,832,832
関係会社株式の売却による収入	142,258	－
ゴルフ会員権の売却による収入	2,000	－
差入保証金の差入による支出	△10,830	－
事業譲受による支出	－	△561,353
その他	△200	△305
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,674,062	313,257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△750,000	△750,000
配当金の支払額	△966,029	△540,687
リース債務の返済による支出	△63,075	△65,533
自己株式の取得による支出	△63	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,779,167	△1,356,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△444,667	132,699
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,412,912	2,525,503
現金及び現金同等物の期首残高	17,457,475	21,738,192
現金及び現金同等物の中間期末残高	20,870,388	24,263,695

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自2025年4月1日 至2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)	中間連結財務諸表計上額
	グローバルゲーミング	海外コマーシャル	国内コマーシャル	遊技場向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,778,350	2,000,437	1,180,998	1,814,250	14,774,037	-	14,774,037
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,778,350	2,000,437	1,180,998	1,814,250	14,774,037	-	14,774,037
セグメント利益又は損失(△)	2,214,871	△561,924	87,582	△158,795	1,581,734	△760,860	820,873

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2026年4月1日 至2026年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)	中間連結財務諸表計上額
	グローバルゲーミング	海外コマーシャル	国内コマーシャル	遊技場向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,332,748	4,118,070	833,006	1,305,204	20,589,030	―	20,589,030
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	14,332,748	4,118,070	833,006	1,305,204	20,589,030	―	20,589,030
セグメント利益又は損失(△)	3,713,881	△35,681	△190,370	71,681	3,559,510	△810,414	2,749,095

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年7月23日開催の取締役会決議に基づき、2026年8月21日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式43,500株の処分を行いました。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金が14,945千円、単元未満株式の買取りによる増加も含め、自己株式が61,775千円それぞれ減少し、当中間連結会計期間末において資本剰余金が2,685,670千円、自己株式が3,569,695千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。